

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 21
2013.12月号



「平岩コスモス街道」でまちづくりをPR！

曙公民館より以南の、県道「土々呂日向線」の両側にある田畠を借用して、平岩まちづくり協議会が「平岩コスモス街道」つくりを実施しました。これは、協議会内の生活環境・地域安全委員会の取り組みで、平成24年度には、「第一回日向市景観賞」の最優秀賞の表彰を受けております。

今年度は、大雨や台風も多く、ちゃんと開花するか心配しましたが、心配をよそに見事な花をつけてくれました。



- P 2～3 特集／新しい地域コミュニティ組織制度事業
○まちづくり協議会・4地区の動き
- P 4～5 市民協働課掲示板
○ひまわり基金事業助成事業中間報告
- P 6～7 協働へのアプローチ
○日向市まちづくり支援事業 ○市民活動団体リーダー養成事業
- P 8 元気印！／山田会

まちづくり協議会・4地区の動き

◆細島地区の取り組み

11月9日（土）・10日（日）の2日間

間にわたり、細島小学校体育館で「細島芸術祭」を開催しました。

本芸術祭は、市民の皆さん気が軽く

芸術文化に触れる機会を設けることを目的に開催していますが、今年

で3回目の開催となり、本協議会の秋の一大イベントとして定着しつつあります。



▲今年も賑わった芸術祭

今年は2日間で過去最高の417人の方にご来場いただきましたが、訪れた人は作品一つひとつをじっくりと観て「芸術の秋」を満喫されていました。

また、本芸術祭の担当部会である青少年育成部会が作製した飛行機の見立て細工も展示され、大好評でした。

今年は2日間で過去最高の417人の方にご来場いただきましたが、訪れた人は作品一つひとつをじっくりと観て「芸術の秋」を満喫されていました。

また、本芸術祭の担当部会である青少年育成部会が作製した飛行機の見立て細工も展示され、大好評でした。

芸術文化は、人々に癒しを与えてくれるとともに、青少年の健全な育成に大きな力があります。今後も、手作りの芸術祭ですが、皆さんに親しまれるイベントにしていきたいと思いま

ります。また、手作りの芸術祭ですが、皆さんに親しまれるイベントにしていきたいと思いま

◆農業体験を実施

11月2日（土）に、平岩小中学校北側にある田んぼの稲刈り体験に20人程の児童が参加しました。田植えから体験している児童は、稻穂が実ったことに目を輝かせ、笑顔で作業していました。将来、この児童たち

に、平岩の農業を担う人財となつてもらいたいものです。

沿岸部に位置する本協議会でも、これまで「災害時緊急連絡調査票」の作成や「避難所マップ」の作成などに取り組んできましたが、今後も地震・津波による防災、減災の取組みを強化しなくてはならないと感じています。

その第一弾として、地区内の小学生等を中心とした子どもたちのみでの避難訓練を年内に実施する予定です。

これは、子どもたちが学校帰りなど一人の状態でも迅速かつ的確に避難できるようになってもらうことが目的ですが、併せて地区全体の避難訓練も定期的に実施し、繰り返し行うことによって住民の防災意識、減災意識の向上に努めています。

今後も区長会、自主防災会、消防団等の連携を一層強化し、防災について取り組んでいきます。



▲稲刈りの様子

【平岩のシンボルマーク決定】

このマークは、漢字の「平岩」の文字をイラストに置き換えて作成しています。さんさんと輝く太陽、高森山、風や雲、田畠を潤す川、雄大な海、人々の笑顔、未来に花咲く「希望の花」など、自然豊かな平岩の情景を、ワクワクするような楽しさ、人の温かさを手書きの風合いで柔らかい色合いで表現しております。またロゴの「ら」の●は平岩を中心に入れ和をもつて集まることを願っています。



ひらいわ

▲シンボルマーク

【平岩ふれあい朝市】

12月22日（日）、午前9時～12時に第20回目の開催を計画しておりましたので、みなさまのご参加をお待ちしております。

特集

まちづくり協議会・4地区の動き

◆塩見川かんきょう教室

10月19日(土)に瀬の口橋周辺で、「塩見川かんきょう教室」を開催し、約30人の参加がありました。

富島河川組合の方から塩見川の生態系などについて説明を受けた後、水道水と川の水との水質の違いを比べる簡易水質検査を行い、最後はウナギ30kgを放流しました。

子どもたちは、ウナギの滑りに悲鳴を上げながらも、やさしく塩見川に放流しました。

【災害図上訓練】

万が一の災害に備え、地域の防災力向上を図る目的で、10月23日(水)に災害図上訓練を行いました。

今後は、地域の方々にも参加していただき、さらに安全・安心な塩見にしていきたいと考えています。

【産業合同フェスタに出店】

「農商工連携・産業合同フェスタ」に、今年も出店しました。

今回は他の行事等の関係で11月16日(土)のみの出店でしたが当日は例年好評を頂いている猪そば200食をはじめ、焼き芋や甘酒、メダカすくいのほか、塩見産の野菜やみかんなど、塩見産の農産物や料理を売り込みることができました。

協議会の地域で子どもを育成し、地域の環境と触れ合う様々な活動が評価された授賞となりました。これからも心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進していきます。

【放課後子ども教室が受賞】

協議会が管理運営する「しおみつ子による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受けることとなりました。

協議会の地域で子どもを育成し、地

【交通安全看板作成・設置】

7月9日(火)に東郷学園で、7



▲35基の看板を町内に設置しました。

月16日(火)には坪谷小学校で交通安全を呼びかける看板作成を行いました。これは、安全な通学路の確保

に向けた取組みの一環です。11月、全區で「歩こう会」が予定されておりますので、是非ご参加ください。

◆東郷地区の取り組み

【牧水秋祭り】

11月3日(日)に道の駅とうごうで2013年牧水の里の秋祭りが行されました。

今年は、耳川フェスティバルと同時開催ということもあり、「みやざき犬」の「かあ君」も応援に来るなど、見どころも盛り沢山でした。

また、東郷町出身の歌手「TABARU」さんのトークライブもあり、

その素敵な歌声に観客は魅了されました。

【ごみ不法投棄防止看板作成・設置】

8月4日(日)に「ごみ不法投棄防止」の看板を手作りで製作し、8月25日(日)に設置作業を行いました。

今後も不法投棄のない美しいまちづくりに向けて取り組んでいきます。



▲みんなで手分けして色を塗りました。

12月は薄暮時の交通事故が多発するそうです。安全運転を心掛けましょう。

【ブルーベリー葉収穫祭】

遊休農地にブルーベリーを植付けしてから1年が経過し、11月24日



▲ブルーベリー葉収穫祭の様子



市民協働課掲示板 ~ひまわり基金事業助成事業中間報告~

**市民活動助成事業…市内の市民活動団体が取り組むまちづくり事業に対して行う助成事業
補助率:対象経費の3/4以内 上限額 150,000円**

No.	団体名	事業名	事業実績
1	宮崎ダンボールコンポストネットワーク県北支部：日向グループ	ダンボールコンポストによる家庭ゴミの削減活動	【目的】家庭から出る生ゴミを有機肥料とすることで小さな循環活動を推進し、日向市の生ゴミ処分費用も減らす。 【実施日】平成25年5月20日から平成26年3月31日まで 【実施場所】日向市 【参加者】140人
2	日向ひまわり国際交流会実行委員会	日向ひまわり国際交流会	【目的】日向市の文化活動と、外国文化活動団体との交流演奏発表を通して、一般市民、活動団体の文化の発展、拡大及び国際意識の向上を図る。 【実施日】平成25年7月7日 【実施場所】中央公民館 【参加者】300人 【事業内容】雅楽、能、日本舞踊、郷土芸能、マンドリン合奏の演奏。台湾合唱団。
3	わんぱく相撲日向場所実行委員会	第8回 わんぱく相撲日向場所	【目的】子ども達に社会教育の場に参加する機会を与え、大会を継続することにより、一人でも多くの子ども達に夢を与える。 【実施日】平成25年5月19日 【実施場所】日向市駅ステージ前広場一雨のため日向市体育館 【参加者】500人(観客含) 【事業内容】日向市・門川町・美郷町・諸塙村・椎葉村の小学生学年別によるトーナメント戦。
4	古澤巣の石神山ミュージックキャンプ実行委員会	古澤巣の石神山ミュージックキャンプ	【目的】レベルの高い指導者による音楽指導。地元の吹奏楽部のレベルアップを図る。市外の方と地元の方々との交流を行うことによって、日向の良さを知っていただく。 【実施日】平成25年8月19日から8月21日 【実施場所】美々津小学校田の原分校 【参加者】180人 【事業内容】普段一流の指導者によるスクールのない地で一流の指導者より基本から音楽レッスンを行う。
5	日向(ひむか)太鼓天地鼓響	第4回 夏休み和太鼓教室	【目的】伝統芸能(音楽)と太鼓を小学生を対象に学んでもらい、和太鼓に対する知識・礼儀作法など学校では学べない事を伝えていく。 【実施日】平成25年7月20日から8月25日 【実施場所】日向市文化交流センター 【参加者】40人 【事業内容】夏休み期間中に7回の練習を行い、8月25日の鼓祭に出場する。
6	美々津遊悠玉手箱実行委員会	美々津遊悠玉手箱	【目的】大道芸を中心とした日本古来の芸人の口上を通して美々津に伝わる神話、伝承に慣れ親しんでもらうとともに、観光地としての美々津を観客にアピールしていく。 【実施日】平成25年9月21日 【実施場所】美々津上町通り 【参加者】516人 【事業内容】都城のちんどんや、花ふぶき一座等の芸人衆が芸をしながら神話を語る。神話の紙芝居。工芸などのモノづくりを行う若手作家らの作品を発表する。手工芸等の体験。
7	日向ロータリークラブ	福島キッズin宮崎	【目的】避難先からもどれていない児童達に子供らしい思い出作りの場を提供、また市内児童と交流を行い、地域間の相互理解、社会絆の機会を与える。 【実施日】平成25年8月18日から8月20日 【実施場所】サンパーク、御鉢ヶ浦、牧水講演 【参加者】47人 【事業内容】御鉢ヶ浦にてSUP体験、坪谷小児童とBBQ、JAXA個体燃料ロケット作成。
8	養心の会 日向	いにしえに問ふ愛のかたち	【目的】古事記神話に縁が深い日向で、古事記や国の興りについて関心を高めてもらうこと、講師の方と参加者同士の交流を図る。 【実施日】平成25年8月24日 【実施場所】大御神社、祖靈殿 【参加者】140人 【事業内容】作家の神渡良平さんに著書の「天翔ける日本武尊」を基に人間のドラマを歌手Aikaとコラボレーションして伝える。
9	富島中学校おやじ会	親子で考える「いじめ撲滅プロレス」	【目的】痛みを想像させることで他者への思いやりを芽生えさせる「きっかけ」作り。 【実施日】平成25年8月11日 【実施場所】富島中学校体育館 【参加者】650人 【事業内容】プロレス教室を行い、プロレスのルールや反則を教え、実際に試合が始まると悪役がレフェリーに気づかないよう反則を行い、生徒から反則に対して「卑怯だ」などの声が上がるよう仕向ける。いじめの加害者を悪役レスラー、レフェリーが生徒・先生・保護者に置き換え、いじめの状況を体感させる。
10	すこっぷ	まちなみハロウィン前夜祭 「大人のハロウィン ジャズナイト」	【目的】まちなみハロウィンは子供ターゲット、その前夜祭として大人も楽しめる場を提供する。 【実施日】平成25年10月26日 【実施場所】大番バチシコ立体駐車場 【参加者】160人 【事業内容】ピアノ・ドラム・ベース本格生演奏、大人のみの仮装大賞、プロのメイクアーティストによる無料メイクブースを設置する。
11	日向渚を守る会	①「お倉ヶ浜ビーチクリーン運動」 ②「TARKUS CUP」	【目的】①ウミガメが孵化する時期が台風の時期と重なっており、流木やゴミが大量に打ち上げられるため通年を通し清掃を行う。②サーファー資質の向上を図り、日向市のマリンスポーツを発展させる。 【実施日】①平成25年8月1日から平成26年3月31日、②平成26年1月1日 【実施場所】お倉ヶ浜海水浴場 【参加者】①2000人、②120人 【事業内容】①ボランティアでは限界がある、流木や大きなゴミを重機を使用し清掃を行う。②サーフィン大会を6クラスに分け実施、参加者には記念Tシャツ、各クラス4位までトロフィー贈呈。
12	これから食を考えるゆるやかネットワークの会	食農・食育体験・講演会	【目的】手早く簡単に調理できる事が重宝される時代で、将来の食の指針がなく心身ともに体力のない子供や若者が増えている現状にある。そのため食農・食育を考え、人間の根幹を担う日々の食の大切さを知ってもらいたい。 【実施日】平成25年10月12日 【実施場所】坪谷公民館 【参加者】200人 【事業内容】稻刈り体験、桃豚カレー講習会、食育講演会を実施。
13	日向市商工会議所青年部	日向商工会議所青年部30周年記念講演会事業	【目的】日向商工会議所青年部創立30周年を記念して、中国問題評論家・石平(せきへい)氏を招き、国際社会への理解、関心を深め日向市の地域力向上のため講演会を実施する。当事業においては、青年部会員だけでなく、地域の方々にも広く来場を呼び掛ける。参加費用1,000円。 【実施日】平成25年11月2日 【実施場所】日向市中央公民館 【参加者】400人 【事業内容】中国問題評論家の石平氏を招いての講演会を実施する。
14	日向市商工会議所女性会	100万人のキャンドルナイト～ひゅうがの灯り2013	【目的】地球温暖化防止活動及びエコ活動の一環として環境問題やエネルギー節約への関心を高めてもらうことと併せて、地域振興と中心市街地の活性化による世代間交流人口の増加。東日本大震災の早期復興。 【実施日】平成25年11月9日 【実施場所】日向市駅前交流広場・屋外ステージ 【参加者】600人 【事業内容】エコキャンドルの点灯、市民吹奏楽団演奏、フォトコンテスト、抽選会、物品販売

市民協働課掲示板～ひまわり基金事業助成事業中間報告～



市民活動助成事業は、前ページのとおり11月15日現在、14団体が助成金の交付を受けています。

ここでは、実施された事業のうち2団体の取組みについてご紹介します。

「環境美化事業・お倉ヶ浜ビーチクリーン運動」

(日向市渚を守る会)

海や自然環境に興味のある方やサーフィンを愛する方たちが一体となり、日向市内の海水浴場のビーチクリーンを行っています。

今年度は、本事業を活用して、ウミガメの産卵場所で有名なお倉ヶ浜のビーチクリーンを8月から月2回ほど行っています。特に、台風時期に漂流してくるゴミ等が孵化したウミガメが海へ帰る際の弊害になつており、それらの撤去なども行っています。

また、サーフィンのメッカである日向市内外にPRするため、平成26年の元旦には、「第3回T A R K U S C U P サーフィン大会」を実施する予定です。

◆問い合わせ先

(赤木 義行 代表)

☎ 090-5943-2371

なお、ホームページでも閲覧できますので、ぜひご覧ください。(アドレスは、下段写真上に掲載しています)

**「食農・食育・講演会」
(これから食を考えるゆるやかネットワークの会)**

近年の食生活は、手軽に作れるインスタント食品の普及に伴い、ゆっくり時間と手間をかけて料理を作る機会が少なくなっています。本会では、食農・食育を基本に「心を込めて作る食事の大切さ・日々の食の大切さ」を市民の皆さんへ考えていただくことを目的に活動しています。

<http://npohyuganagisa.blog.fc2.com/>




▲ビーチクリーンと孵化したウミガメの様子。自然を大切にしていきます！

とたいへん好評でした。

また、同地区の「きずな田」で稲刈り体験も併せて実施しました。

今後も食と農の大切さを市民の皆さんへ伝え、共有していく活動を続けていくこととしています。



▲講演会、講習会、稲刈りの様子

[NPO法人設立支援事業]

「誰かの役に立つことがしたい」そういう熱意を持つて活動している団体等が新たに特定非営利活動法人（NPO法人）を設立する際に、それらに要する経費の一部を助成する『NPO法人設立支援事業』（補助率10／10 上限額20万円）。

今年度は次の1団体が新たにNPO法人を設立されたことから、本事業での助成を行いました。

本事業では、10月12日（土）坪谷公民館にて北海道で同様の取組みを展開されている佐々木十美さん（北海道置戸町・食のアドバイザー）を講師に招き、1ヶ月寝かせた手作りのカレールウを使ったカレーを開催しました。

カレーを試食された方からは、「スペイスが風味豊かで美味しい」とたいへん好評でした。

このように、市民活動助成事業を活用され、市内の多くの市民活動団体がそれぞれ特色ある事業を実施しています。

「自分たちの団体も助成事業を活用して何か事業を実施して、日向市のまちづくりを盛り上げたい」という場合は、お気軽に事務局（市役所市民協働課内）へ問い合わせていたります。(TEL 56-0017)

団体名	特定非営利活動の種類	特定非営利活動に係る事業
青空会 【構成人数】8人 【設立年月日】平成25年7月5日	①保健、医療又は福祉の推進を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③農産漁村又は中山間地域の振興を図る活動など	①高齢者や障害者の介護、介助及びその家族の支援事業 ②地域コミュニティ・まちづくり推進事業 ③子どもの健全育成事業など

～日向市市民まちづくり支援事業～

平成25年度下半期採択事業を紹介します！



No.	団体名	代表者	事業名	区分	採・否	事業内容
1	まちなかハロウィン実行委員会	実行委員長 明神 勝彦	まちなかハロウィン2013	既存 拡大	採択	中心市街地をステージに仮装コンテストやおばけツアー、パンプキン美術館等のイベントをこども達が主役となって行い「ハロウィン」をテーマに街なかでの様々な体験を通じて街を愛する「心」を育てる。
2	鼓祭実行委員会	実行委員長 中川 常雄	日向ソーラン・祭り	新規	採択	タキオバンドによる東北民用のコンサート、またタキオバンドと市内の小中学生による大規模なソーラン踊りを実施し、最高の思い出にしてもらう。
3	Happiness	代表 門田 小夏	ワンニヤン＆キッズフェスティバル	既存	採択	動物の殺処分の現状と実態を詳しく記したパネル展や、動く動物のデモンストレーション、フリーマーケット等のイベントを実施し、動物を身近に感じてもらいながら、子供から大人まで楽しみながら命の大切さに気づいてもらえるきっかけづくりをします。
4	山田会	代表 和田 康之	山田会活動20周年記念 映画「小さいおうち」日向市特別先行上映会	既存	採択	一昨年、日向市青の国大賞を受賞された山田洋次監督の最新作「小さいおうち」を全国公開に先駆けて鑑賞する機会を設ける。映画館のないまちにて、最新の映写設備環境のもと鑑賞できる機会を設ける。
計	4団体		4事業			

市民が知恵を出し合い、地域の特色を生かした事業を自ら企画・運営・実施し、元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進するため創設された「日向市市民まちづくり支援事業」。

創設8年目を迎え、今年度から「日向市市民活動支援基金事業」との一本化を図るなど、市民の皆さんのが活用しやすい事業となるよう努めています。

平成25年度は、上半期11事業（内採択10事業）、下半期4事業（内採択4事業）の応募がありました。



▲今年度新規採択された「日向ソーラン・祭り(平成26年2月16日実施予定)」の公開プレゼンテーションの様子。

今年度採択された事業のうち、平成25年12月1日以降に実施されるのは同事業と山田会(裏表紙参照)となります。

平成25年度は、上半期11事業（内採択10事業）、下半期4事業（内採択4事業）の応募がありました。

平成25年度は、上半期11事業（内採択10事業）、下半期4事業（内採択4事業）の応募がありました。

- ◇審査基準の検討
- ◇書類及び公開プレゼンテーションでの審査
- ◇補助金を交付する事業の選考および補助金額の査定

審査委員を募集します

1. 業務内容
 2. 募集人員
 3. 任期 (平成26年度～27年度)
 4. 応募資格
 5. 応募期間 (平成25年1月2日～平成26年1月31日(月))
 6. 応募方法
- 申込用紙は市民協働課にあります。また、協働のまちづくりホームページからもダウンロードできます。



協働へのアプローチ



ひまわり基金事業市民活動団体リーダー養成事業では、昨年からステップコース・ジャンプコースの2クラス制で、これから日向市を担う人材の育成に取り組んでいます。

平成25年度リーダー養成事業では、ジャンプコース14名、ステップコース15名の受講生が集まり、まちづくりについて学んでいます。

1年目のステップコースでは、外部の講師による講話やワークショッピングを中心に講座を進めています。

第4回講座では、市商工港湾課長の隅田氏より、日向市の重点施策である

受講生からは、「細島港が日向市だけでなく、宮崎県にとっても重要な港だと知ることができた」、「日向市にとって、こんなに他に誇れる港があることに驚いた」、「これから日向市が楽しみなりました」など、

今回の研修が有意義なものとなつたというご意見をたくさん聞くことができました。

また、今年度2年目となるジャンプコースでは、昨年度の講座で学んだことを基に、日向市の活性化について外側からの視点と内側からの視点

日向市ひまわり基金事業 市民活動団体リーダー養成事業

細島港について講話をいただき、学習会をおこないました。

その後、より見聞を深めるため、第5回講座で県北部港湾事務所の皆さんに細島港及び沖防波堤概況について、机上・現地でご説明いただきました。

現地調査では、遊覧船に乗船して沖防波堤及び細島港海上視察を実施。沖防波堤はもちろん、海上からしか見ることのできない日向市の風景を見ることができました。

その後、細島港国際コンテナターミナルガントリークレーンに試乗して現地視察を行いました。



▲細島国際コンテナターミナルガントリークレーン



▼ガントリークレーン試乗による現地説明

編集後記

今回号は、ひまわり基金事業について大きく取り上げました。今年度改正された市民活動助成事業では、市民の皆さんの日向市を良くしたい!という熱い思いを後押しするため、今後も皆さんが活用しやすい事業となるよう創意工夫に努めています。(な)

今後は、それぞれさらに調査を進め、先進地視察研修・修了式での報告会を実施する予定となっています。

新しい国際交流員を紹介します!!

8月から市民協働課に新しい仲間が加わりました。

「広報ひゅうが」や「協働のまちづくりホームページ」などでご存じの方も多いと思いますが、アメリカ出身のクリストファー・リー・レゾット(30)です。

市では、国際交流員派遣事業などの様々な事業を通じて、「国際交流を通した協働のまちづくり」にも取り組んでいますので、派遣を希望される場合は、お気軽にお問合せ下さい!





E-mail:yysk@mx6.tiki.ne.jp

HP:<http://ww6.tiki.ne.jp/~yysk/>

山田会



世界最長の映画シリーズとしても有名な「男はつらいよ」をはじめとする、時代を反映した家族の問題、人と人のつながり、未来への希望、そして日本の原風景といったテーマを一貫して撮り続け、2011年には日向市青の国大賞を受賞された山田洋次監督の映画を日向市にて応援することを目的に、山田監督公認のもと1993年に設立。

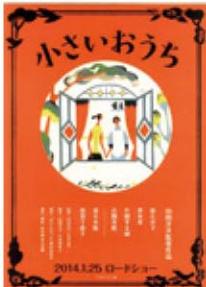
今年も、山田監督の最新作「小さいおうち」(2014年1月25日公開)を全国に先駆けて12月22日(日)に日向市文化交流センター大ホールにて上映します!!

映画館のない日向市で、山田監督の描く映画を応援し、作品上映をとおし、笑いや感動の空間を共有する場を作る事に、今後とも努めていき、山田監督や制作スタッフとの交流を、大切に続けていきたいと考えています。



「東京家族」と「ひまわりと子犬の7日間」上映会(2012年)

<山田会活動20周年記念> 「小さいおうち」日向市特別先行上映会 山田洋次監督最新作(2014年1月25日全国公開)



平成25年

12月22日(日)

9:30～ 開場

10:00～ 「小さいおうち」上映

(上映時間：136分)

※上映終了後、山田洋次監督と倍賞千恵子さんの舞台あいさつを予定しています。

会場 日向市文化交流センター 大ホール



日向市市民まちづくり支援事業 平成26年度上半期企画提案事業を募集します!!

市民主体による元気で活力あるまちづくりを推進するため、市民の皆さんのが知恵を出し合い、地域の特色を生かして自ら企画し運営するまちづくり支援事業の平成26年度上半期分を広く市民活動団体等から募集します。

市民まちづくり支援事業審査会で採択された事業に対して、補助金を交付します。

●応募できる団体

- (1) 市内に活動拠点を有する非営利活動団体(NPO法人・市民団体、ボランティアグループ、自治会等)であること。
- (2) 5人以上の会員で組織していること。
- (3) 組織の運営に関する規約等があること。
- (4) 宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
- (5) 暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと。

●募集事業の内容

- (1) 市又は市内特定地域(以下「市・地域」という。)の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
- (2) 市・地域の特色を生かした事業
- (3) 市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

●事業の部門及び補助率、補助金交付限度額

- (1) 地域づくり事業
コミュニティ全体の活性化及び醸成につながる事業
(補助率=3/4以内、限度額=50万円)

(2) イベント系事業

全市対象の祭り、スポーツ大会、講演会、シンポジウム、文化芸術の発表会、展覧会、観賞会等のイベント

(補助率=1/2以内、限度額=300万円)

(3) 伝統的事業

概ね30年以上継続して開催され、将来にわたり継承すべき伝統的イベント

(補助率=1/2以内、限度額=300万円)

(4) 地域づくり整備事業

地域づくり事業をより発展的かつ効果的に行うために必要な施設等の新築、改修、保全等を行う事業

(補助率=10/10以内、限度額=400万円)

●提出書類

- ①事業企画提案書
- ②事業計画書
- ③収支予算書
- ④団体概要書
- ⑤団体の運営に関する規約等
- ⑥会員名簿
- ⑦その他市長が必要と認める書類

●応募期限

平成26年2月3日(月)～平成26年2月14日(金)

●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がありましたら、お気軽に市民協働課(☎52-2111 内線6251)までお問い合わせください。

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください!

日向市 協働のまちづくり

検索